

Mpol a mpola なムベンデ便り

NO, 2

青年海外協力隊 平成 26 年度第 4 次隊 氏名:佐藤結香 職種:医療機器 派遣国:ウガンダ

ウガンダに来て 6 ヶ月、配属先であるムベンデ地域中核病院に赴任して 5 ヶ月が過ぎた。任地での生活にも慣れ、少しずつだが余裕を持って活動が出来ている。今回の「Mpol a mpola なムベンデ便り NO, 2」では、看護師とともに開催した CME (Continuance Medical Education) とエンジニア達との日常、私の休日について紹介する。

①活動

1) CME ?

Continuance Medical Education の略であり、院内で開かれるスタッフや学生の為の勉強会である。CME を利用し救急外来科の看護師と使用頻度の高い医療機器の使用法と手入れ方法についての勉強会を開催した。医学生や看護学生が実習の為に来ていたこともあり学生向けの内容とした。

今回、使用した医療機器は、酸素濃縮器、酸素ボンベ、吸引器、サチュレーションモニター、血圧計である。特に酸素濃縮器は院内で一番使用される医療機器である。

座ってただ話を聞くだけの CME が多い。しかし、業務で忙しくても来てくれるスタッフや学生が多い。そこで今回は実際に医療機器に触れ医療機器に対する恐怖心を無くしてもらい、使用方法を覚えてもらうという体験型の CME を開催した。Presenter は主に看護師とし、私はサポートという役割になった。真剣に話を聞きメモを取る学生達や、疑問に思ったことは納得するまで質問し続ける姿がとても印象的だった。CME が終わってから自主的に練習し、質問をする学生が多くとても感心した。今後も定期的開催していく予定だ。



真剣な学生たち



熱心な看護師



別の CME の様子

2) エンジニア達との日常

私はエンジニア部に所属している。エンジニア部には電気技術師、配管工、大工が所属している。エンジニア部には私を含めて6人のエンジニアが所属している。院内の電球交換、電気設備の管理、水道修理、棚作成、ドア修理、電化製品修理などなど、医療機器に限らず様々なものを扱っている。日本の臨床工学技士のような資格はなく、エンジニア達がそれぞれの分野で仕事をしている。私は主に医療機器の分野をサポートしているが、それ以外のことはエンジニア達から学ぶことも多い。今では懐中電灯を直せるようになった(笑)。

配属先では医療機器は修理できなくなるまで使い続けることがほとんどである。たまに私が生まれる前から使われている大先輩の医療機器を見かける。あーでもない、こうでもないと言いながらどうにかして修理し使おうとする私とエンジニア達(笑)。そんな毎日が新鮮で楽しい。



エンジニア達との日常



月1回の5Sに関する会議にて

②私の休日

土日は活動が休みになる。私は休みの日も任地のムベンデで過ごす。ウガンダ人に招待された誕生日会や教会のパーティーに行ったり、週1回のマーケットへ野菜や洋服を買いに行く。マーケットでは現地語を話して値切ったり、仲良くなって野菜や果物をおまけしてもらっている。

また散歩をしていると、よく道端のおじちゃん集団や商店のおばちゃんに話しかけられる。彼らに混じり、楽しくおしゃべりしながら何時間も過ごす。散歩をしていて雨が降り出したら、商店のおばちゃんと炭酸ジュースを飲みながら話をしながら雨宿りをすることもある。私にとっておじちゃん集団や商店のおばちゃんは、現地語の先生になる。



よく行くお店の近くにいる子供たち。
写真を撮るよーと言うと集まってくる！



チップス屋のお兄ちゃん

たまにひとりになりたい時がある。そんな時は自宅で読書や料理、英語の勉強や「チテンジ」という伝統的な布を使って裁縫をして過ごしている。平日の活動が忙しいことが多い為、休日はゆっくりリフレッシュするように心掛けている。

私はガスで料理をするが、たまにウガンダ人のように七輪と炭を使って料理をしている。初めの頃はなかなか火を起こすことができず近所のおばちゃんに助けてもらっていた(笑)。今ではコツをつかみ一人でもできるようになった。七輪は外で使っているのでよくウガンダキッズが様子を見に来る。子供たちと楽しく話しながら料理をする私の休日、日本ではなかなか経験できないなと思いながら過ごしている。



←炭で火起こし



ウガンダ豆で餡子作り→